



残す

日経コンストラクション 広告連動企画

the other side of 残す印刷

第1回

心に伝える

「すみません、すぐにやり直します、すみません」
彼女は何度も謝った
悪いのは彼女ではない
私が口頭と簡単なメモしか渡さなかったからだ

障害者雇用を進める我が自治体では
その職場として市庁舎に印刷室を設けていた

私は昔の苦い経験を今でも忘れられずにいる
「もう大丈夫だから！」強い口調だった
事態の収束ばかりに気をとられていた私から出た言葉

住民への説明会に使う大量の資料
しかし印刷室からは違うサイズで仕上がってきた
「いつもと違うから気をつけてね」
口頭で伝えたのは私の甘えだ
伝えたことは伝わると思っていた
彼女はひたすらに謝った 何度も何度も

伝わらないのは伝える人の怠慢とも言える
私は書類を作らなかったことを悔いた

庁舎のゴミ置場には大量の失敗紙が積まれていた
彼女は働くことが嬉しいと言った
ゴミになった彼女の仕事を前に
私はしずくが止まらなかった

しばらくしてようやく彼女が復職すると
顔はいつもの真剣な表情に戻っていた
ここは彼女と社会との大切な接点ですから
責任者はそう言った

ほんのちいさな手抜きで
人の一生懸命がゴミになる
ところが引き裂かれそうだった

私は紙面に残すことを日課とするようになった
あの時のやるせなさは今も忘れない

記録ばかりする私の日常に新婚の娘は呆れながらも
夫にも同じことを強いていると聞く
娘夫婦のつくる孫の記録が今から楽しみだ
私はソファーに座りながら結婚式の記録を眺める
来春の孫の記録が待ち遠しい

正確な伝達を実現する印刷



株式会社 大 應

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-5
Tel. 03(3292)1488
<http://www.dai-oh.co.jp>